



かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和3年4月

発行責任者：坂本りょうへい

岡山県笠岡市大宜 605

電話：0865-66-1818



春うららかな季節、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年、市政へ挑戦させていただき早一年が経ちました。この間、多くの皆様とお話をさせていただき、多くのご縁を頂戴しました。また、歩み小さくとも皆様と一緒に取り組んで来た一年に心から感謝を申し上げます。

ここに新年度予算を含む3月定例議会の報告と継続事業を含む一年の活動報告をさせていただきます。

3月定例議会（会期 2/26 - 3/26）

本議会では新年度予算を審査しました。4月補正を含む新年度当初予算は、一般会計 240 億 3380 万円、特別会計 124 億 471 万円、企業会計 81 億 3,280 万円、合計 445 億 7,131 万円となります。

一般会計：公共事業など通常必要となる事業費

特別会計：国民健康保険や後期高齢者医療、土地造成事業費やべき地診療施設費等の一般会計とは分ける事業費

企業会計：上下水道や病院事業費

新規事業の総額は1億8,201万円でした。

大きい予算としては、本庁エレベーター改修（1,960万）

認定こども園整備事業補助金（1億586万）

笠岡運動公園50mプール撤去事業（3,200万）

図書館屋上防水工事（2,070万）

笠岡市新病院基本計画策定業務支援事業（1,594万）

篠坂スマートＩＣアクセス道路等整備事業（1,460万）

※予算の財源は国・県支出金、地方債等が含まれます。

坂本の目 笠岡市新病院基本計画策定業務支援事業について
は市民病院の建替えや運営等のコンサル費用や審議会の費用が計上されているが、有識者会議でも多々指摘がある。経営の厳しい状況で昨年コンサル費用に770万をかけての現在の状況を踏まえ、
コンサルに本年も1,500万の予算
計上の費用対効果が疑問でしかない。



坂本の目 継続事業として離島振興事業費がNPO法人かさおか島づくり海社に例年通りの予算措置（1,095万円）がされていましたが島の現状や取り巻く現状が変わる中、毎年同様の離島振興という大枠の予算付けには様々な疑義が見えるとして指摘し、次年度までに細分化しわかりやすい事業形態を提案するように条件を付けました。
実行する法人にとっても明確にすることで事業仕分けができると考えます。

皆様の声、地域の声を教えてください。
皆様の声を活動の指針として参ります。

新型コロナウイルス対策について

これまで多くのコロナ対策事業の審議を行ってきました。これまでの事業総額は約2億1,500万円でありコロナ対策地方創生臨時交付金2億6,321万円に対し80%の執行をしています。

坂本の目 皆様に直接的に還元できるものがあれば間接的に還元した事業、これまで予算化できなかつた事業をコロナ対策も踏まえ実現した事業もあります。今回、削除した予算には明らかにコロナ対策ではなく一般事業として計上をするようにと指摘をした事業もあります。

（削除）マイナンバーカード普及促進事業

マイナンバー普及の為、実施期間に申請した方にふるさと米をプレゼントするもの

（削除）庁舎施設等整備事業

旧粗飼料生産供給基地施設改修事業

本庁一階のトイレにおける不具合を改修、粗飼料基地のトイレ水洗化をおこなうもの

残り交付金が市民の皆様に直結する費用となるべくしっかりと審査をしてまいります。

財政調整基金はさらに減額

財政調整基金とは、将来の支出に備え、自治体の判断で積み立てるお金であり大規規模災害時や感染症対策、税収減等で資金が必要になる場合に利用できる。

新年度予算では財政調整基金から1億9,800万円を繰り入れ、年当初で残高約5億円となっています。健全な運営をするためにも一定水準を確保しなければなりません。また地方債などの債務も増える中、市の経営は今まで通りには行かなくなってきてています。今年度の状況を慎重に加味しつつ健全な予算執行へと声をあげて参ります。



kasaoka.mirai@gmail.com

個人質問を行いました。

東日本大震災から10年、いまだ大規模な余震が続いている。西日本豪雨災害も記憶に新しい中、市民の安心安全に対して質問と提案をしました。

【質問答弁内容抜粋】

Q. 現在、約5億円となった財政調整基金において西日本豪雨等、大規模災害があった場合に市政維持ができるのかを尋ねる。

A. 大変厳しい状況であり予算化した事業も執行停止し災害復旧へ財源を集中し市政運営を維持します。

Q. 全戸配布したハザードマップは成果物がゴールになっていないか?今後の有効活用を尋ねる。

A. 活用方法の説明や研修の実施などより意味のあるものへとしていきます。

Q. マイタイムラインの活用や河川など市民が危険の基準を確認できる対応ができないかを尋ねる。

A. 自助共助の醸成を目的にマイタイムラインの幼少期教育への導入や地域への普及、併せて行動に連動した仕組み作りを検討していきます。

Q. 毎年、市費にて防災士資格者を増やしている。これを強みととらえ防災士が連携して活動できる仕組みをつくれないかを尋ねる。

A. 自主防災組織と連携でき、普及啓発活動ができる組織として防災士連絡会(仮称)設立を検討していきます。

マイタイムライン:災害などで個人・家庭・会社が避難準備や避難行動を始める時間割を作ることです。

その他、災害対策本部の確認から首長の危機管理意識を確認し、笠岡市における危機管理について共有をさせていただきました。



小中一貫教育におけるアンケートにご協力ください

笠岡市では小中一貫教育を推進し、令和3年より試行段階に入ります。また金浦中学校区は令和8年にモデル校として城見・金浦・陶山小学校を統合し、金浦中学校を一体型一貫校を設置する方向で計画段階に入っています。

皆様には今一度、これからの中学校と地域コミュニティのあり方についてご意見を頂きたくアンケートを実施致します。

インターネットを利用してのアンケートとなりますので理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



アンケート責任者: 坂本亮平

皆様と一緒に取り組んだ地域要望対応

安全対策	状況
市道通学路安全対策要望 梅雨時期に対し 河川の堆積物撤去	該当地区要望取得のみ 有田地区内撤去完了
今立川浚渫要望 住宅地内転落防止対策 及び防草対策 ため池堤防修繕要望	担当課へ要望 繼続案件 用之江地区内工事開始 要望提出 繼続案件
国道二号線街頭設置要望 住宅地通り抜け対策要望 通学路転落防止ガードバリア [®] 設置要望	県へ要望書提出 該当地区へ対策要望共有 茂平地区設置完了
市道標識移設要望 河川石橋補強確認要望 消防機庫安全柵設置要望 市道退避場所拡幅要望	番町地区移設完了 該当箇所経過観察対応 該当機庫安全柵設置完了 地権者と要望書提出

その他対応	状況
相続事案対応	相続処理完了
企業誘致補助金申請	新規企業への紹介
地域文教施設設立 に向けた物品手配	廃棄物品の紹介
団地内側溝勾配対策 と堆積物除去	大宜地区内改善対応
小中一貫教育における 勉強会実施	城見地区内3回開催
地縁団体設立アドバイス	市内3団体設立協力

その他多くの声を頂戴し一緒に取組んでいます。

新型コロナウイルスワクチン接種について

高齢者の優先接種にあたり、5月9日(日)までにご自宅に接種券が届きます。

予約開始日 : 5月10日(月)

接種開始時期 : 5月17日(月)

接種費用 : 2回とも無料

接種場所 : 集団接種 笠岡市保健センター

個別接種 笠岡市が指定する医療機関

※予防接種は全て予約制です。

※5月17日からは集団接種から始まり、個別接種は準備でき次第開始となります。

詳細は配布チラシや担当課までお問い合わせ下さい。



【お問い合わせ先】

笠岡市新型コロナウイルスワクチン対策室

(ワクチン相談ダイヤル) **0865-63-8567**

月～金曜日 8:30～17:15